

パブリックコメント実施結果報告書

平成26年2月25日

担 当 課	教育委員会事務局家庭・地域教育課
担 当 者	生涯学習担当：岸本
連 絡 先	0857-26-7944

意見公募のテーマ： 鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン（第3次計画）案

①手段別意見応募件数（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合には、 3（1）と記載してください。）

郵 便	ファックス	電子メール	県民課・県民局へ	その他の方法	計
0（0）	9（3）	19（3）	0（0）	0（0）	28（6）

※「その他の方法」の例：意見交換会、電話、イベントなど

②応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件 数	主 な 意 見
反映した （一部のみ反映したものを含む）	16	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた体系的な読書指導に学校体制で取り組むという方向性を打ち出してほしい。 ・司書教諭を中心に「学校全体で」児童生徒の学習活動・読書活動を推進していく方向に修正してほしい。 ・司書教諭、学校図書館担当職員の資質向上のための研修の機会を増やすべきである。 ・子どもの読書活動に関わる県のあゆみ、取組も記載するべき。 ・子どもが読書に親しむようにするには、まず親が読書に親しみ、その姿を子どもに見せることが必要。大人が公立図書館に行く機会を増やすような取組を進めるべき。 ・図書館において利用者のニーズに合わせて様々な文化的事業を実施し、人が集まりやすい環境をつくる必要がある。
既に盛り込み済み	8	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育所の本の整備・配架など環境整備を支援するため、司書の派遣が必要 ・図書館職員の技能向上が必要である。 ・学校図書館や市町村図書館を利用しない児童生徒が増えてきているようなので、図書館の充実をしてほしい。 ・学校図書館の新聞配備にも触れてほしい。新聞は「学習・情報センター」としての学校図書館に必須の資料である。
今後の検討課題	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動推進のためには、担当者の力量向上、研修充実と大人が読書に親しむ環境づくりが必要 ・朝の一斉読書の形骸化やマンネリ化がありはしないか。「朝の一斉読書9割実施」の中身についての検討が必要だと感じる。
対 応 困 難	0	
そ の 他	0	
計	28	

※上記による分類が困難な場合は、担当課の整理に基づく分類で差し支えありません。

③意見募集結果概要書を、1部添付してください。

→とりネットのパブコメページ・
県庁ロビー掲示板で公表します。

他の公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への 報告	県民課等での 縦覧等	広報誌等への 掲 載	その他
○		○			○

※「その他」の例：審議会報告など